

勝見紀子／したたかに、しなやかに。思い通りに生きるための5回のリフォーム

「自分らしい生き方とは」を考え続け、築 27 年の住まいを、12 年間かけて5回のリフォームを行ったAさん宅のご紹介です。離婚後、生活を安定させるため紅茶の卸販売に本腰を入れることを決意します。リフォーム費用は融資で借りられる範囲と決め、初めのリフォームを行いました。返済を励みに精力的に働きつつも、自分の拠点は仕事も暮らしも自宅であると肚を決め、安全で心地よく、商談相手や気の置けない友をストレスなく招ける住まいを目指します。二人の息子との関係も見直し、経済的には独立している彼らの生活の一部を、この住まいの中に提供するという位置づけに至ります。そして、ひとりの生活の充実、家族との緩いつながり、自立を支える仕事、老後の選択的社會とのつながりを、リフォームによって叶えて行きました。収入や貯蓄に見合ったリフォームをその都度計画していったのも、地に足の着いた判断でした。私より12年先輩のAさん。リフォームをお手伝いするなかで、考え決めることで自分の人生をつかっていくその生き方に、大いに影響を受けました。

第1期—家族のリビングをパブリックな場に

紅茶の卸販売を軌道に乗せるため、商談の場が必要になりました。オーナーパティシエを招きテイストリングを提供できるよう、リビング・キッチンを改装。工事費 470 万円のうち、400 万円は小規模事業者用の公的融資を受けました。

第2期—浴室改修と部分耐震

2 年後、傷みがひどくなっていた浴室をユニットバスに改修。その際に床下劣化補修と耐震補強。南側の鉄骨部にも鉄筋ブレースで耐震補強 工事費 110 万円

第3期—家族解散宣言

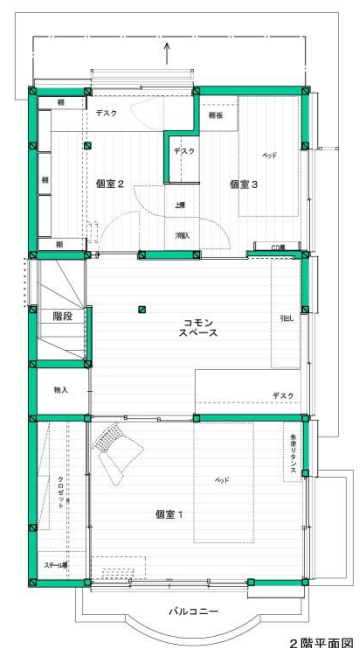
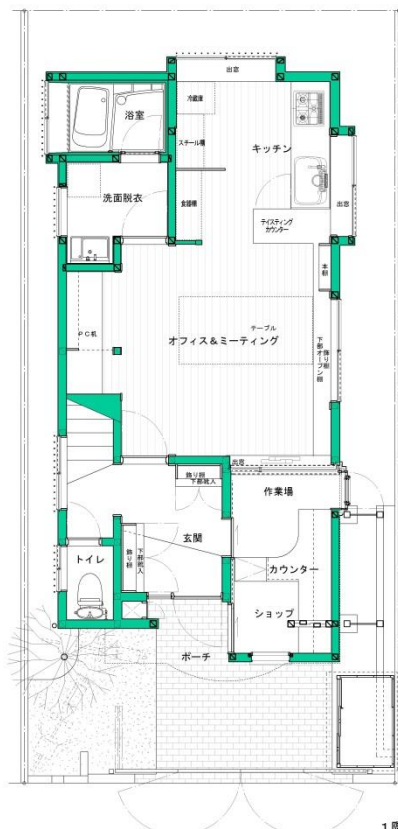
更に3年後、2階の個室部分改装。母の生活を中心に、成人した二人の息子が独立した生活の拠点の一部とするための間取り変更。工事費 550 万円 息子も負担

第4期—耐震補強

東北震災を受け更なる耐震補強を希望。仕事と暮らしの拠点を安全な場所にしたい。評点 1.25 に。工事費 50 万円

第5期—作業場をショップに

事業拡大と地域とのつながりを視野に、作業場を対面販売のできる限定的ショップに改装。工事費 250 万円。この時も小規模事業者用の公的融資 200 万円を利用。



1階平面図

2階平面図